博士学位論文インターネット公開留保申請書

２０＊＊年　　＊＊月　　＊＊日

大学院○○理工学研究科長　殿

私が執筆した博士論文（全文）について、下記表の理由によりインターネットによる公開を留保させて頂きたく、当該理由を証明する書類とともに当申請書を提出致します。

なお、全文公開を留保する代わりに要約（博士論文概要）を公開したくお願い致します。

　また、当該申請の承認後に記載した理由が解消した場合には、公開可能となった旨速やかに研究科長に報告します。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 氏名（直筆署名） | |  | | 学籍番号  （課程内のみ） |  |
| 論文題目（副題含む）  ※論文執筆言語の題目のみ | |  | | | |
| インターネット上での全文公開を留保するやむを得ない事由  該当するものに〇を  してください。 | | 1 | 博士論文が、立体形状による表現を含む等の理由により、インターネットの利用により公表することができない内容を含むため。 | | |
| 2 | 博士論文が、著作権保護、個人情報保護等の理由により、インターネットの利用により公表することができない内容を含むため。 | | |
| 3 | 出版刊行の予定があるため。/博士論文に論文として未発表の部分があり、博士論文との多重投稿を禁止するジャーナルへの投稿を予定しているため。 | | |
| 4 | 博士論文に特許出願している（出願を予定している）内容が含まれるため。 | | |
| 5 | その他（※本項目内に理由を詳述してください） | | |
| （※）やむを得ない事由で3あるいは/および4を選択した場合のみ：  公開留保期間は、学位を取得した年度の翌年度から最長で5年です。  （例：2025年度中に学位取得　⇒　留保期限は2030年度末(2031.3.31)）  ご自身の学位取得年度をもとに、留保期限を以下に入力してください。  学位取得年度：２０＊＊年度　⇒　留保期限：２０＊＊年度末 | | | |
| 公開留保解除予定日（公開可能年月日） | | ２０＊＊　年　＊＊月　＊＊日  ※解除予定日を公開留保申請時に特定出来る場合のみご記入ください。 | | | |
| 合否判定日  (研究科運営委員会開催日) | | 20\*\*年　　年　　　月 | | 学位授与年月  （予定） | 20\*\*年　　年 |
| 主査氏名（直筆署名） | |  | | | |
| 連絡先 | 電話 |  | | | |
| Email | ※学位取得後も連絡が取れる（恒常的に使用する）個人アドレスを入力してください。（転職等、所属組織の変更によってメールが届かなくなることを防ぐため、可能な限り個人アドレスをご記入ください。）  \*\*\*\*\*\*\*\*\*\*＠\*\*\*\*\*\*\*\*\*\*\* | | | |

【公開留保事由で3あるいは/および4を選択した場合の誓約事項】同意する場合、チェックをしてください。

|  |  |
| --- | --- |
|  | 上記(※)の公開留保期限を上限とし、留保事由が解除され次第、私が解除手続きを取り、自身の博士学位論文の全文をインターネット公開することに同意します。 |
|  | 上記(※)の公開留保期限までに留保事由が解消しない場合には、私が改めて公開留保申請手続きを行うことに同意します。 |

※記載いただいた情報は、博士学位論文インターネット公開留保に係る目的以外の用途には使用しません。なお、登録・解除の業務の全部または一部を委託する場合があります。

博士学位論文インターネット公開留保承認書

年　　　月　　　日

早稲田大学教務部長　殿

早稲田大学図書館長　殿

大学院○○理工学研究科長（サイン）　　　　　　　　＿＿＿

博士学位取得申請者＿＿＿＿＿＿＿＿より、裏面のとおり、「博士学位論文インターネット公開留保申請書」の提出を受け、当研究科で審議したところ、当該博士学位論文は学位規則第9条2項に規定する「やむを得ない事由」に相当すると判断いたしましたので、ご連絡申し上げます。

つきましては、当該博士論文の全文につき、インターネットでの公開は留保させていただけるようお願い致します。

なお、記載した理由が解消した場合には、公開可能となった旨速やかに報告します。

以　上